

# なぜ地域共創科をつくるのか？

島根県立隠岐島前高校と隠岐島前地域のこれまでとこれから



島根県立隠岐島前高校 学校経営補佐官 大野佳祐



**大野佳祐 (42)**  
**東京都日野市出身**  
**2014年11月移住**  
**7年目のヨソモノ**

**隠岐島前高校 学校経営補佐官**  
**keisuke.ohno@dozen.ed.jp**  
**090-1846-3218**

# 島根県隠岐郡



# 島根県



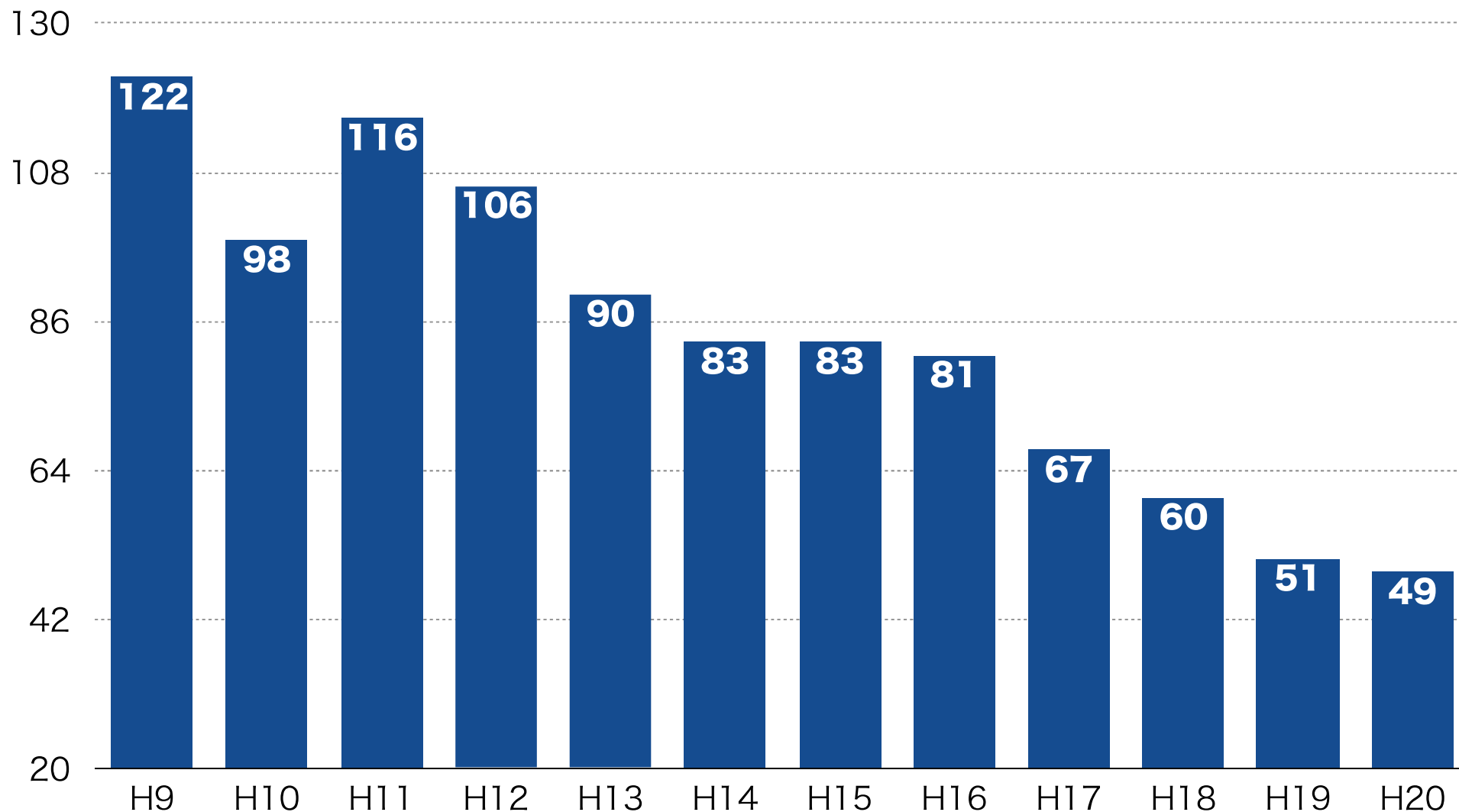
## 隠岐諸島



隠岐

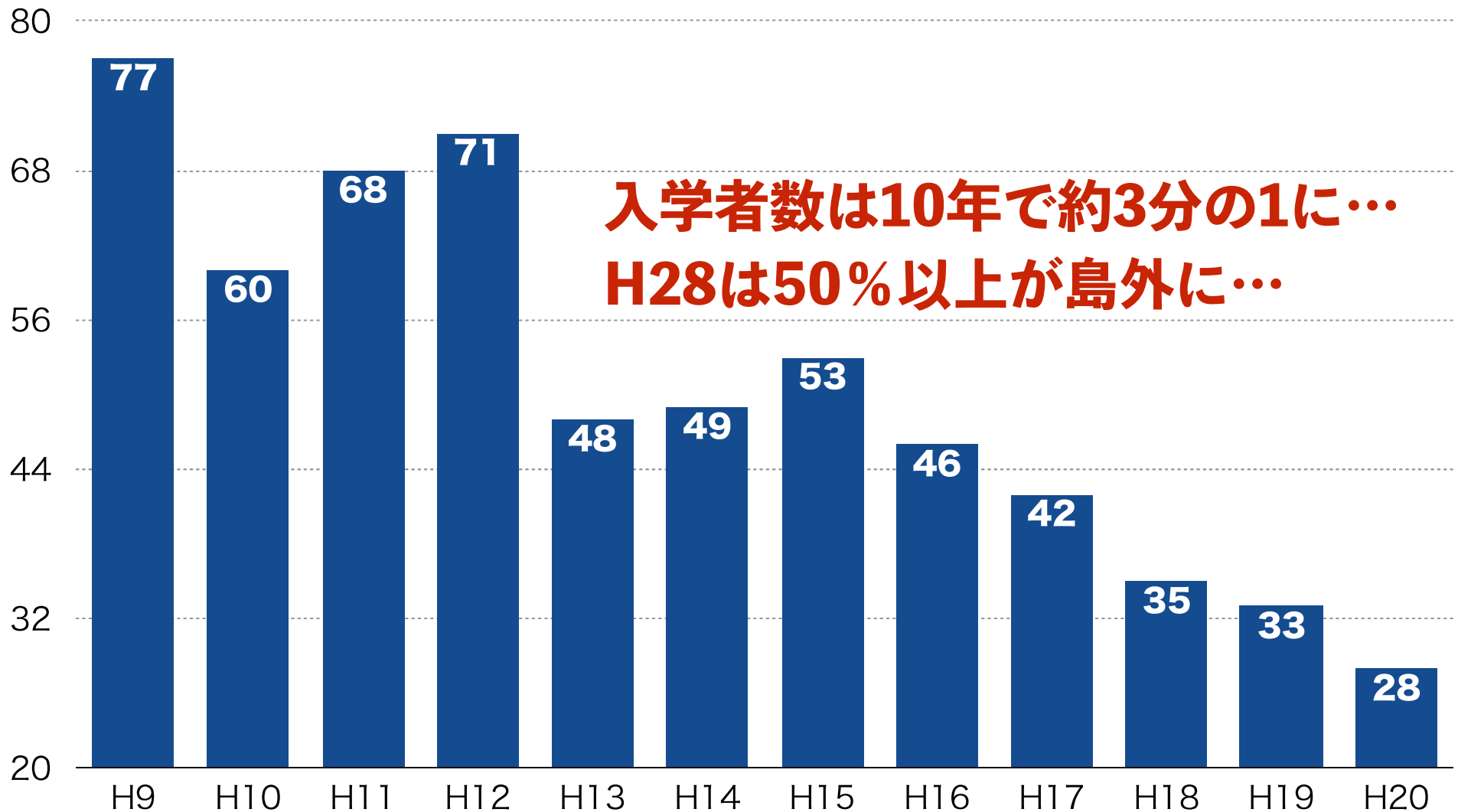
# 島前地域15歳人口の推移

(西ノ島町、海士町、知夫村)



# 島前高校入学者数の推移

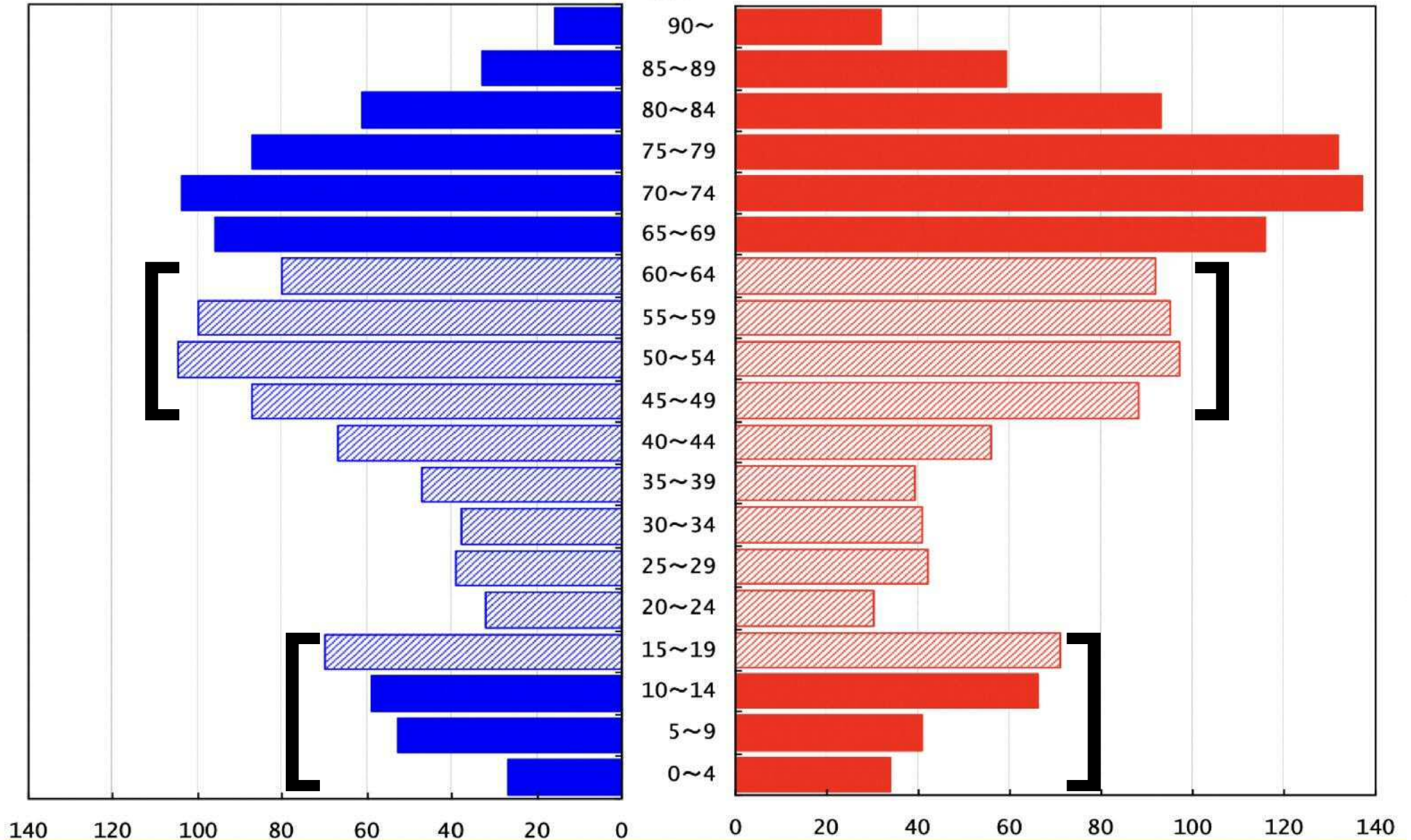
入学者数21名を切ると統廃合検討対象（H20は28名）



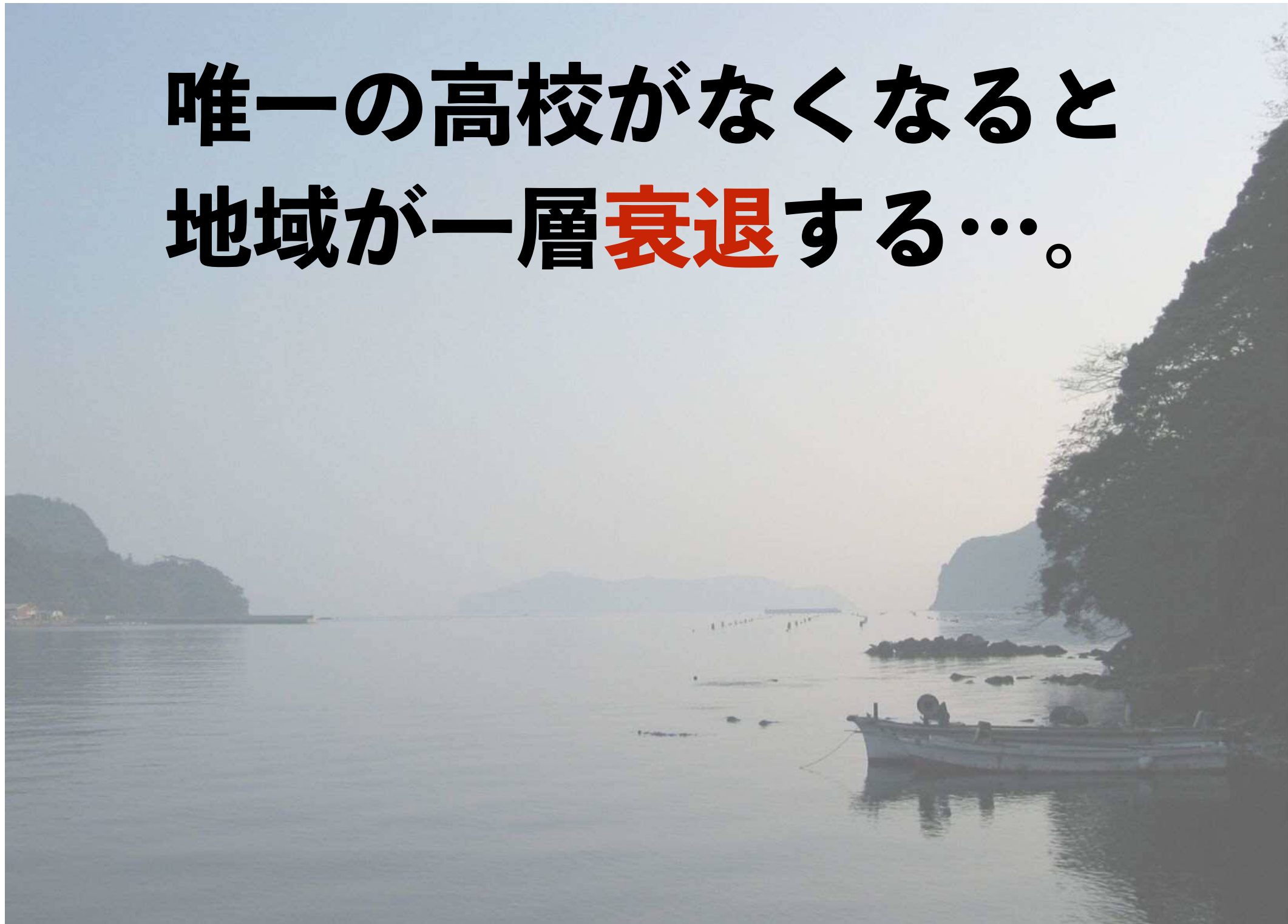
# 地域から高校がなくなると

(H15.12.26)

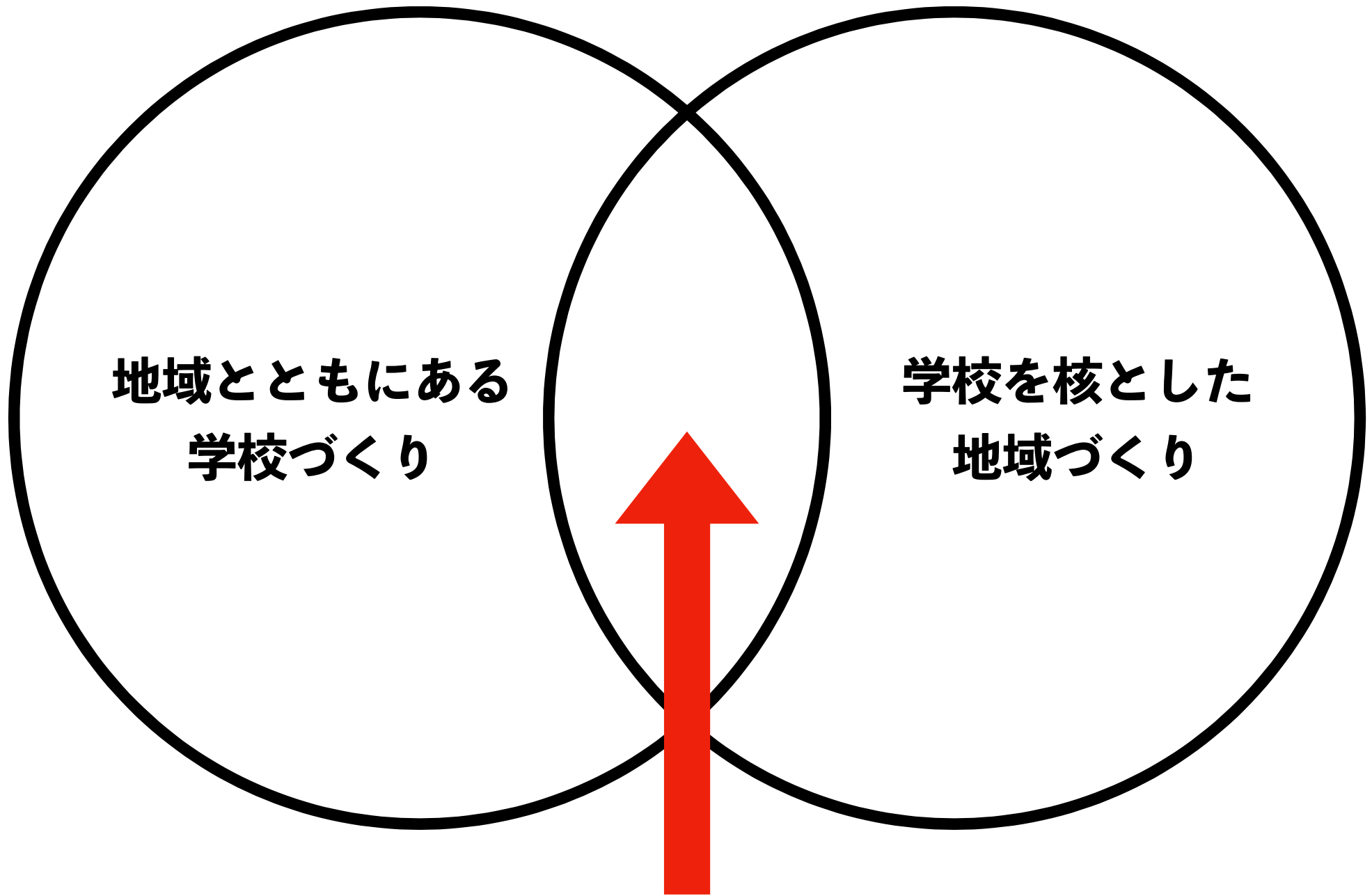
(歳)



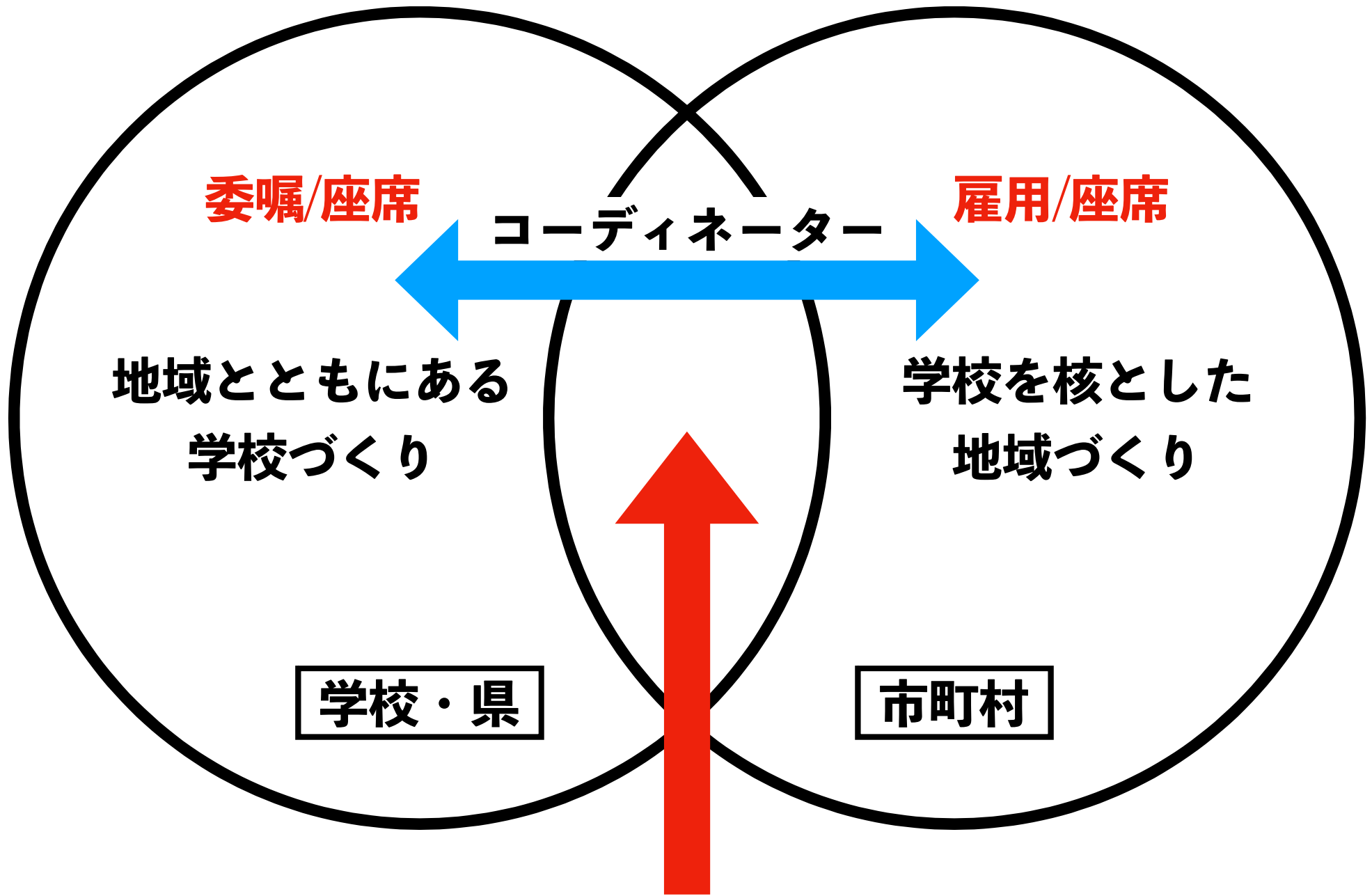
唯一の高校がなくなると  
地域が一層**衰退**する…。







社会に開かれた学校 / 教育課程



社会に開かれた学校／教育課程

# ようこそ 島留学



島留学は、島に滞在し、島の文化や自然を体験しながら、島の人々と交流し、島の発展に貢献する活動です。島留学の期間は、1週間から1ヶ月までです。島留学の費用は、島によって異なります。島留学の申し込みは、島の観光協会や留学センターで行えます。

**全国から意志ある脱藩生を募集**  
**多様性を持ち込み活性化を**



# 島外から来た生徒にとっては 多様性の中での自立の機会

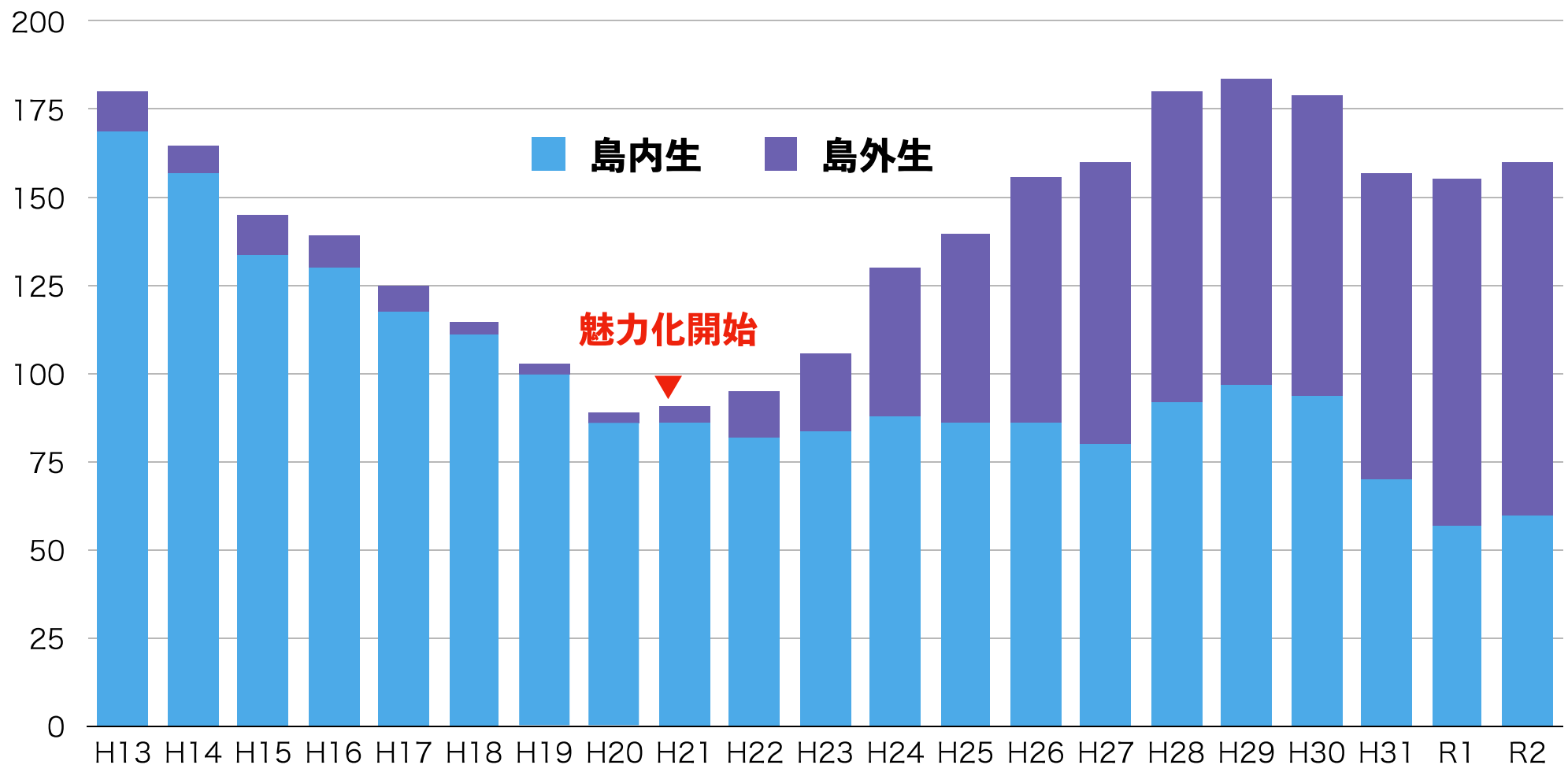




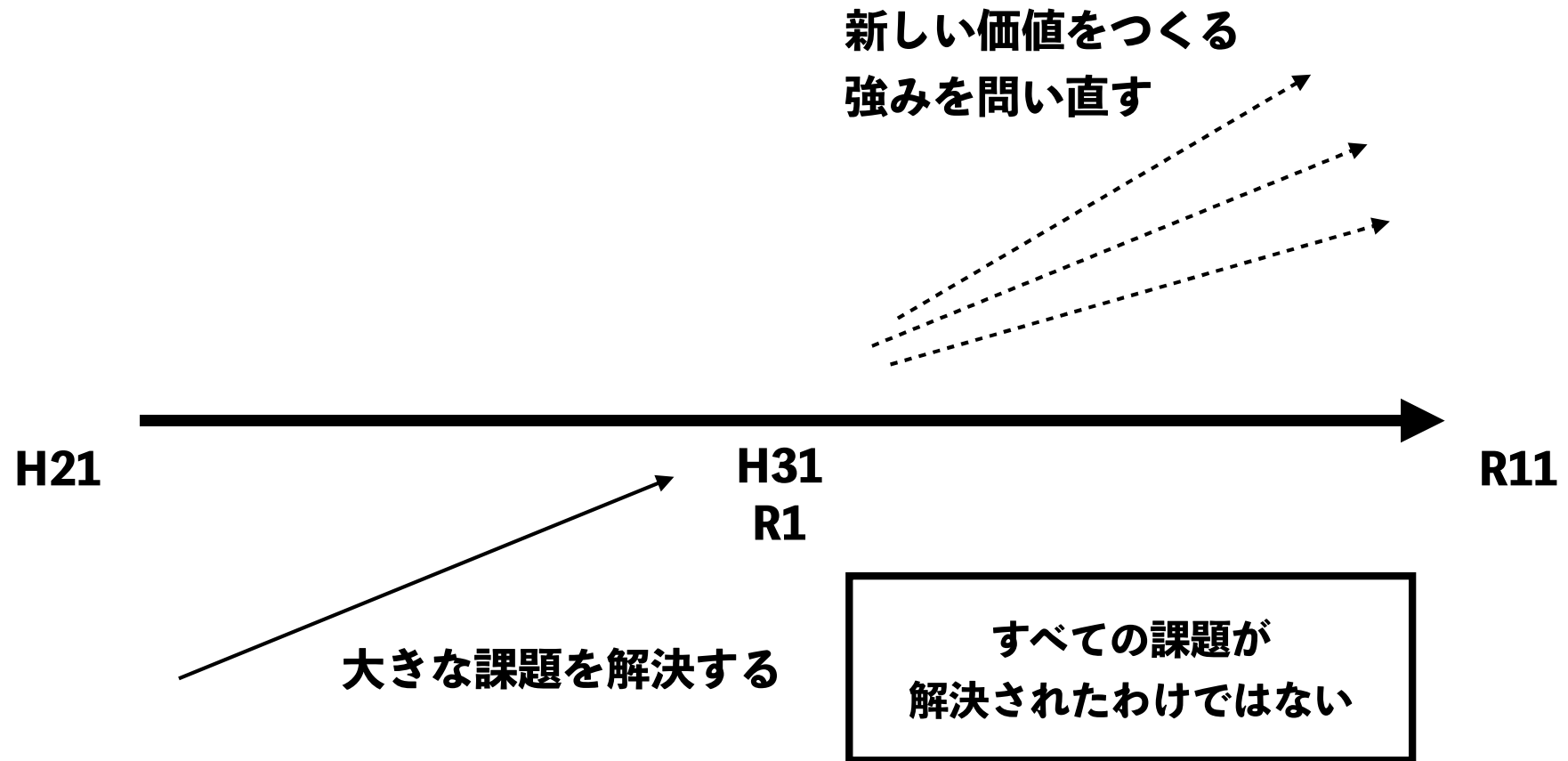
# 生徒数・クラス数が**倍増**

推薦倍率**2.7倍**／島内進学率も**増加**／教員数も**倍増**

東京・大阪、よその過疎地域、ブータンなどから続々と



# これまでの10年と **これからの10年**



これからの方がむしろ難易度は高い



# 来春から**地域共創科**が新設されます

## これから変わること

新たに設置される「地域共創科」では、教科学習や「総合的な探究の時間」による探究的な学びとあわせて、地域でのより実践的・実証的な学びを展開することで、他校にはない隠岐島前ならではの「地域・社会と共にある教育環境」をつくります。

### 1 新たに「地域共創科」が設置されます。

2022(令和4)年度から「普通科」と合わせて、新たに「地域共創科」が設置されます。これは文部科学省の普通科改革(※1)の流れを全国に先駆けて実施するもので、より地域の特徴を生かしたカリキュラムで学ぶことができる新しい制度です。  
(詳細はQ&Aページを参照ください)

### 2 2年生から学科が分かれます。

2年生から「普通科」と「地域共創科」の2つの学科に分かれます。学科は1年2学期末(12月頃を目処)に選択する予定です。学科選択は卒業後の進路にとって非常に重要であるため、1年次に生徒および保護者の方を対象に説明会を実施し、きめ細やかにサポートする予定です。

### 3 「地域共創DAY」が設置されます。

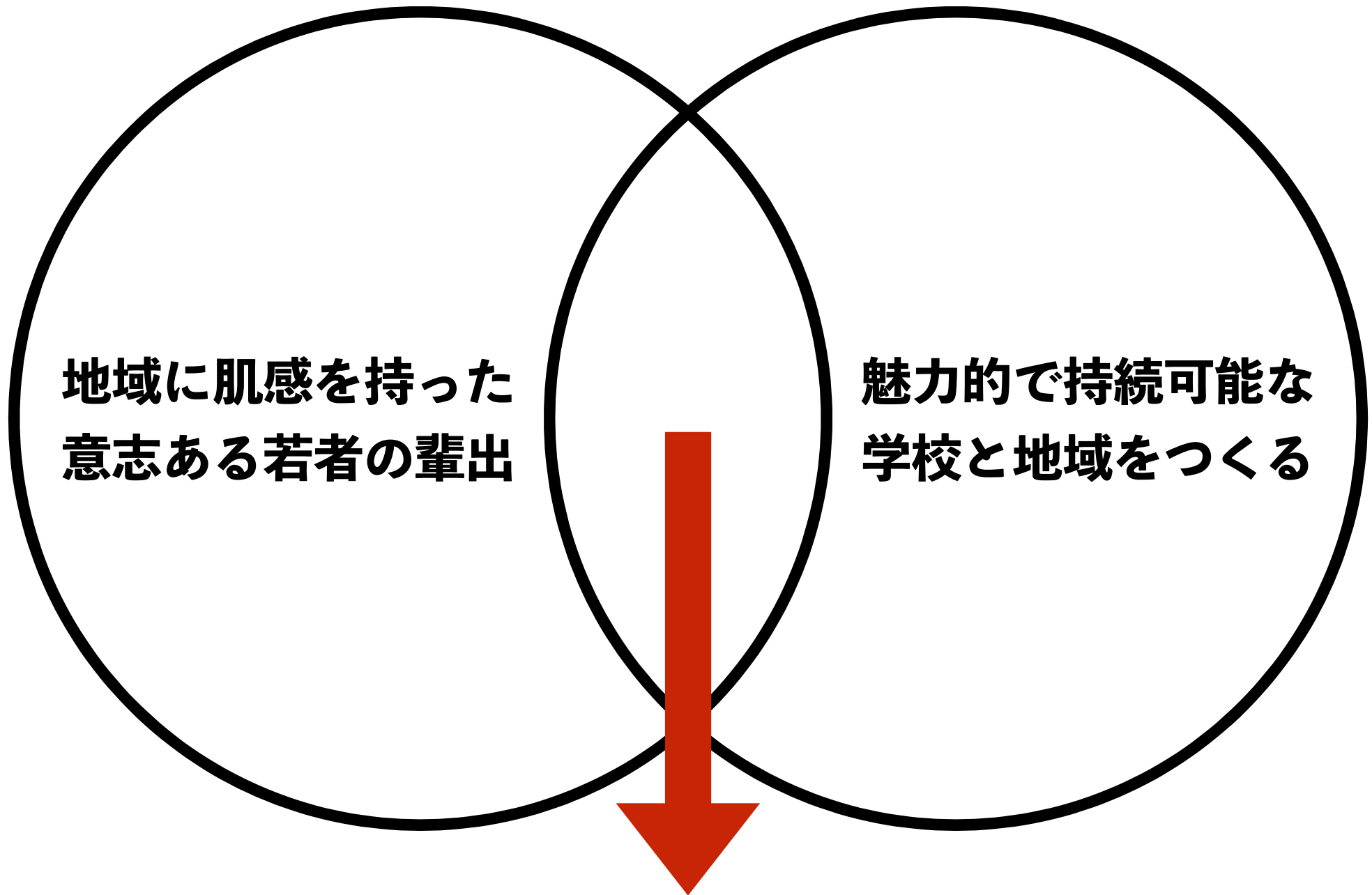
地域共創科における2年次の「地域未来共創」と3年次の「グローバル未来共創」は、それぞれ週6時間分あり、1日をつかって地域に飛び出し、地域のリアルな現場で実践的・探究的に学ぶ時間をカリキュラムの中で設けます。

仲間と共に、  
大人と共に、  
地域と共に、  
意志ある未来を創る

#### 社会はこれからも大きく変化していきます。

社会の変化が大きな時代ですが、その変化はますます速くなることが予想されます。AIやIoTの登場で都市部だけでなく地域社会も大きく変化しています。その変化の中で自分らしく、主体的に生きていくことが大切になります。

※1 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)には、高校生の学習意欲を喚起し、その能力を最大限に伸長できるように、多様な実情・ニーズに応じた学びを実現



地域に肌感を持った  
意志ある若者の輩出

魅力的で持続可能な  
学校と地域をつくる

意志ある人と意志ある人に選ばれる地域をつくる

地域に肌感を持った  
意志ある若者の輩出

魅力的で持続可能な  
学校と地域をつくる

学校だけで育むことはむずかしい

圧倒的に増えるのは**実践の時間**



# 地域に実在するリアルに触れる



埋もれている魅力に気づく



# 現場でやってみる ことから学ぶ



# 学んだことを活用し、実践から学ぶ

## Place, Problem, Project-based

地域づくり

学習

知識・技能習得

PBL

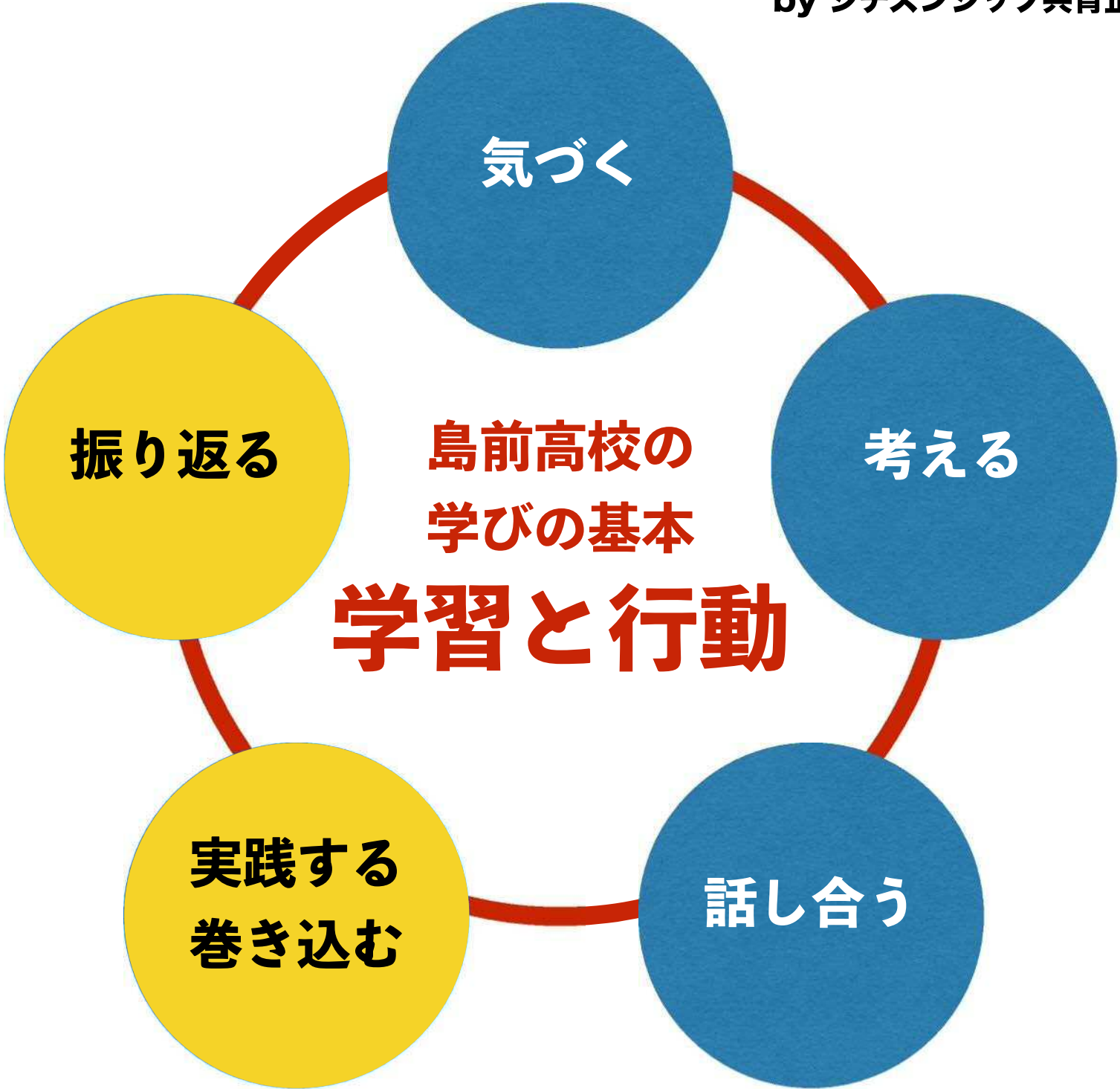
行動

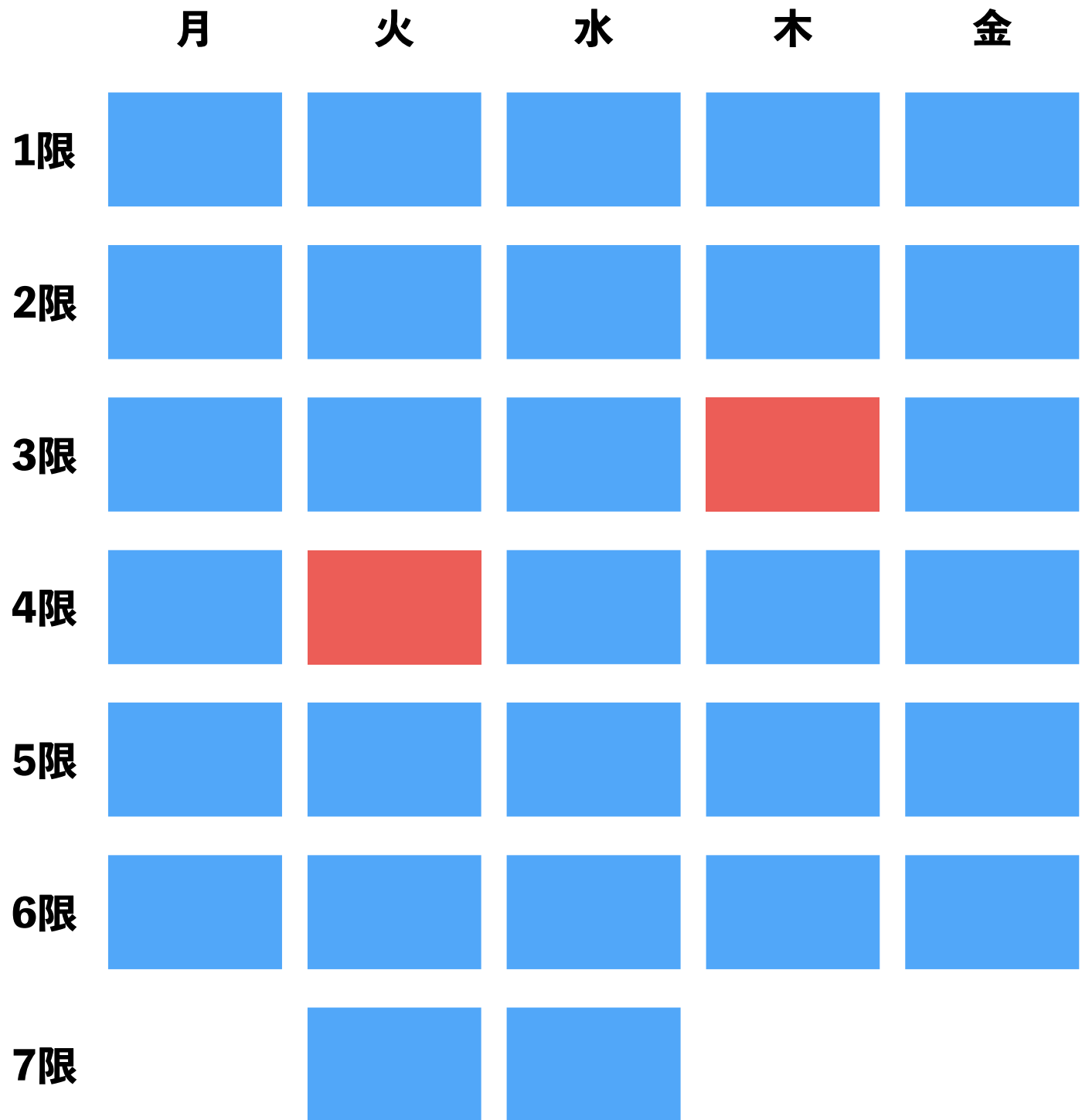
課題解決・実践

人づくり

発表仕上げ  
(~17:00)  
フィードバックをもとに  
さらに磨きをかけよう。







**32単位における  
地域での活動時  
間は6%程度**

	月	火	水	木	金
1限	Blue	Blue	Blue	Red	Blue
2限	Red	Blue	Blue	Red	Blue
3限	Blue	Blue	Blue	Red	Blue
4限	Blue	Red	Blue	Red	Blue
5限	Blue	Blue	Red	Red	Blue
6限	Blue	Blue	Red	Red	Red Dotted
7限		Blue	Blue		

**地域共創科は単位数を31単位に減単し、かつ、地域での活動時間を30%以上に。**

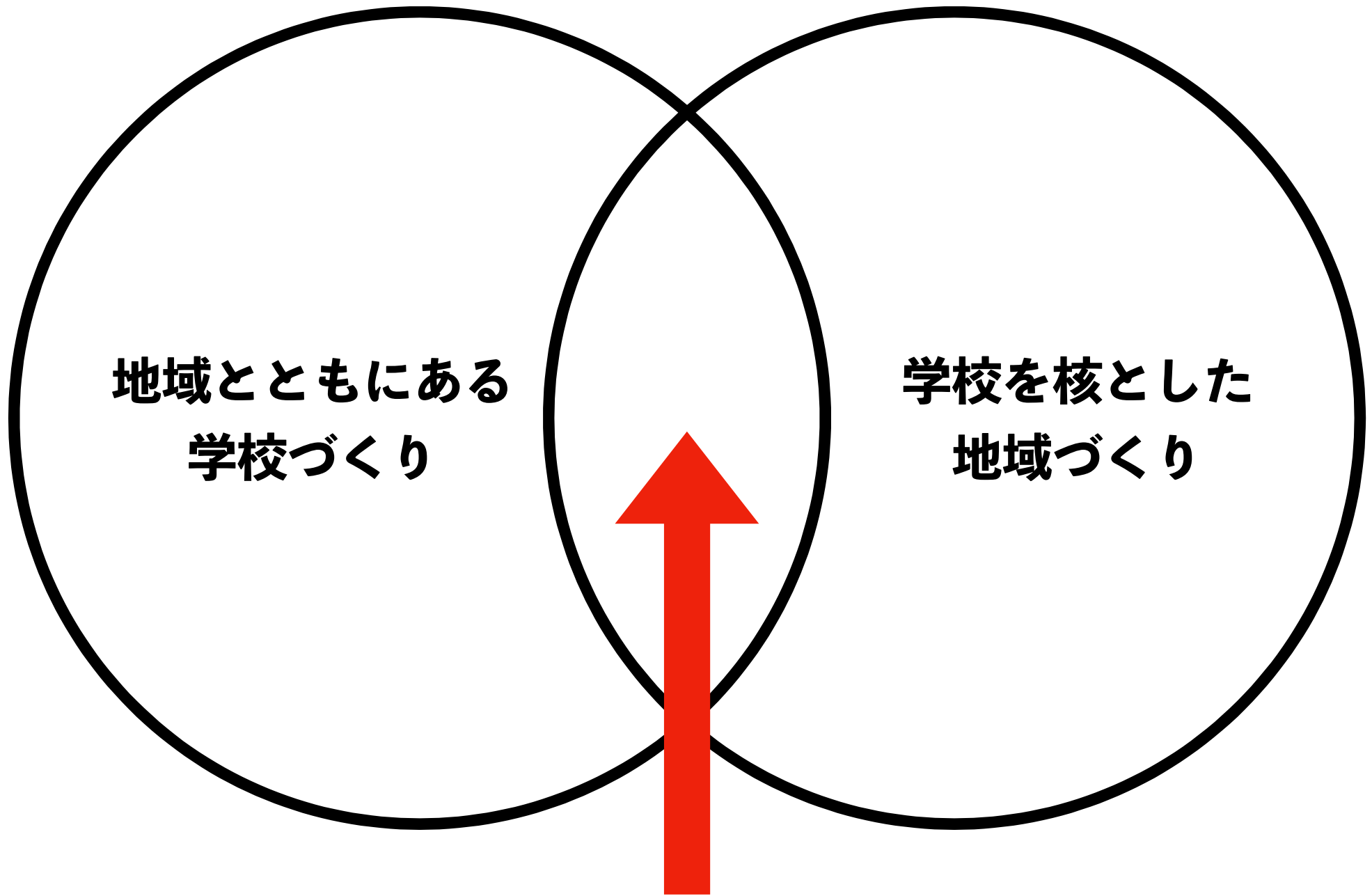
**金曜も離島から部活遠征に行け、個別最適な補習や主体的な地域での活動に充当。**

# 大人が**率先垂範**で探究する



# 素人ながら私自身も田んぼを





社会に開かれた学校／教育課程

# 教育が地域衰退に加担

過疎化、少子高齢化、文化衰退

子ども流出→誇り喪失→担い手不足

都会の担い手育成（教育の画一化）

教育の標準化

# 教育が**地域創生**に貢献

地域の**魅力化**、持続可能化

子ども増加→誇り創出→後継者育成

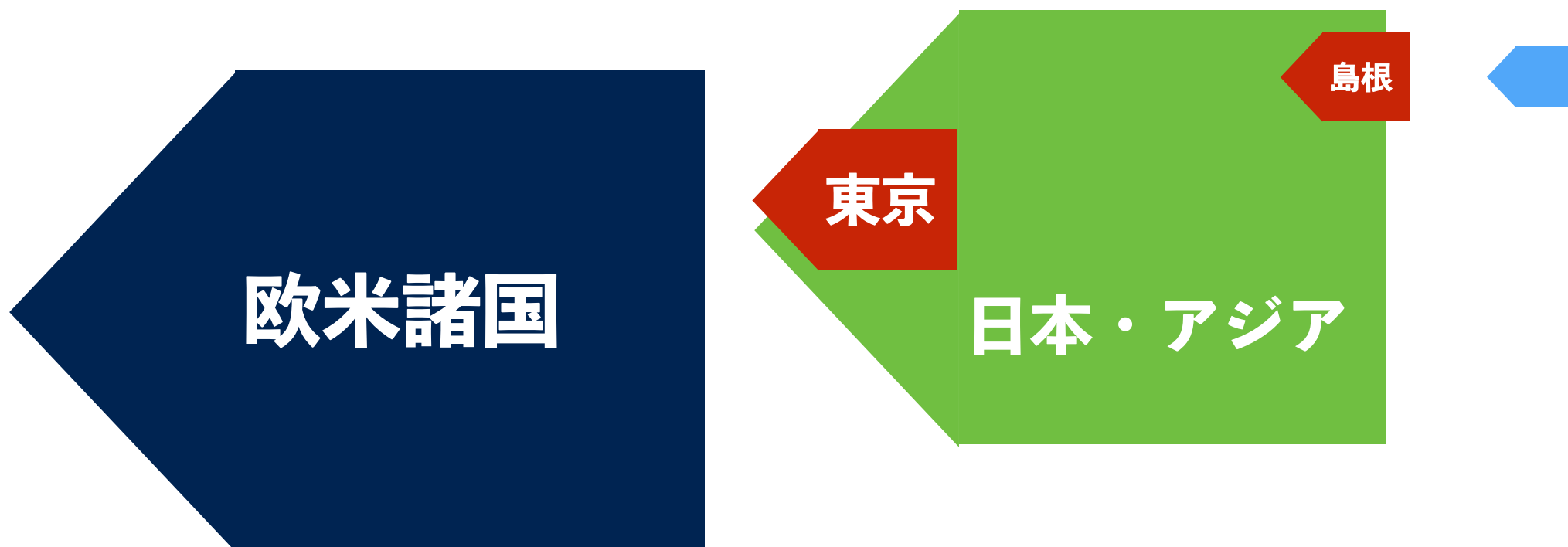
地域でしかできない教育（ブランド化）

教育の**魅力化**



# 高度経済成長社会の**最後尾**

<時代遅れの最後端…>



# 持続可能社会のタグボート

< 未来を切り拓く曳舟に >



**ご清聴ありがとうございました**